

3章 読解力

1年 組 番 氏名

今回の授業の位置づけ

- 「課題発見」は探究活動のスタートラインである。
 - ・「課題発見」を行う際には、論理的な「読解力」が必要である。
 - ・「読解力」は探究活動全般に関わる能力である。
- 「課題発見」、「データ分析」などの過程では学術的文章を検証していくこととなる。
 - ・検証するときには、「クリティカルシンキング（批判的思考）」が必要である。
 - ・「クリティカルシンキング」の根幹を担うのも「読解力」である。

ねらい

- 「ロジカルシンキング」「クリティカルシンキング」はどのようなものか理解する。
- 「隠れた前提」など、論理的読解を阻害するものを知ろう。

1. 論理的思考（ロジカル・シンキング）

「論理的思考（ロジカル・シンキング）」とは、結論と根拠のつながりを明確にし、客観的かつ合理的に考えるための思考法です。「〇〇だから△△」でつながる考え方ともいえるでしょう。結論と根拠がつながっていないと、何を考えているのかわからず思考が迷子になったり、他者に伝えたい場合に理解してもらえないといった状況に陥ります。そうならないために、筋道立った思考が必要になるのです。

論理的思考は様々なエッセンスを含む概念ではありますが、ここでは「結論と根拠がそれぞれ明確であり、さらにそれらが適切に結びついているか」という視点を日々の思考の中に取り入れるためのポイント

を解説します。

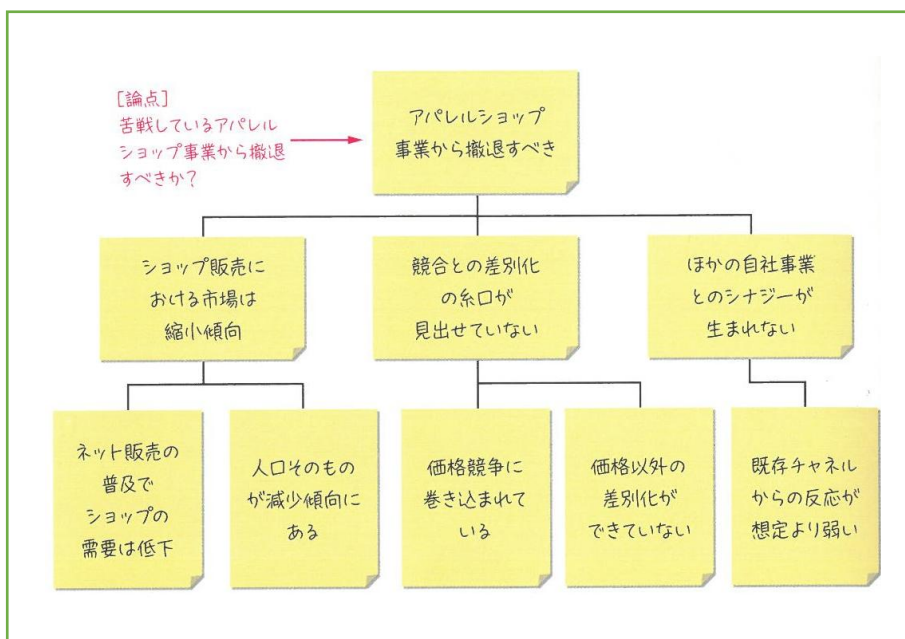
考え方

①〈論点を決める〉

何について考えるのかを設定する。左の図の場合は【アパレルショップ事業から撤退すべきか】である。

②〈情報を集める〉

①で設定した論点に対する結論を出すために必要な情報を収集し、整理する。集めるべき情報も精査。

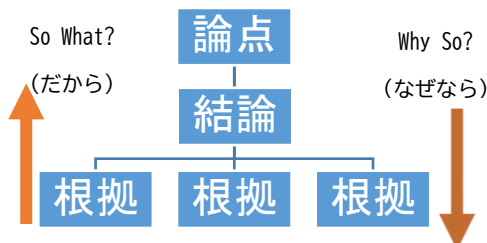


③ 〈何がいえるかを考える〉

②で集めて整理した情報から何がいえるかを考える。情報から「解釈」を引き出すステップといえる。個別の情報が意味することを考えながら、最終的に①の論点に対する結論を出すことを目指す。

④ 〈論理を構造化する〉

最終的な結論に至ったら、その結論までの思考の筋道を整理。結論と根拠の全体像を整理するには、結論を頂点と根拠の全体像を整理するのが有効。「Why So(なぜなら)」「So What(だから)」でそれぞれつながっているか、漏れなくダブリなく考えられているかチェックする。



(引用文献・参考文献:『思考法図鑑』小野義直・宮田匠・2019)

2. クリティカルシンキング

課題1 (20分)

(1) ねらい

○クリティカルシンキングをはたらかせながら文章を読む。

(2) 内容(取り組むこと)

- 1 **ワーク1** についてペア(グループ)としての解答を作成する。(2人ペア or 3人グループ)
- 2 先生の指示に従い、答え合わせをする。
- 3 **ワーク2** に取り組む。グループの意見を発表し、意見交換する。(2ペア統合、4~5人)
- 4 解説を読む。

ワーク1

以下の特徴のある物質を規制の対象にしようと思いますか？また、その理由は何ですか？

⚠【警告】この危険物質を規制すべきか？

あなたが厚生労働大臣なら、以下の報告がある「物質X」を規制しますか？

犯罪との関連 受刑者の90%以上が犯行前に摂取	致命的な事故 新生児や高齢者の窒息事故が多数
負の相関 よく摂取する子供はテストが平均点以下	強力な依存性 摂取を止めると2日以内に激しい禁断症状

© NotebookLM

追加情報 この物質については、以下のすべてのことが報告されています。

- ・ 受刑者の90%以上が、その罪を犯す以前によくこの物質を口にしている。
- ・ 性犯罪事件の60%以上は、この物質を口にしてから24時間以内に起きている。
- ・ この物質がよく口にされている国内の一部の地域では、人口が大きく減少している。
- ・ この物質を口にする人のほとんどが、科学的に重要な事実と意味のないデータの区別がつかない。
- ・ この物質を新生児や高齢者が口にすると、のどに詰まったり、窒息することが、多数報告されている。
- ・ 18世紀には、この物質は水に溶けた状態で摂取されており、その頃の平均寿命は50歳程度であり、天然痘、赤痢、コレラなどの疾病で多くの死者が出た。
- ・ この物質をよく口にした子供の半数は、テストが平均点以下である。
- ・ この物質はいわゆる中毒症状を引き起こすと報告されている。被験者に最初はこの物質と水を与え、後に水だけを与える実験をすると、2日もしないうちにこの物質を異常に欲する。

この物質を規制の対象にしようと思いますか？班としての解答 〈 思う ・ 思わない 〉
また、その理由は何ですか？

理由① _____

理由② _____

ワーク2

ワーク1は、間違えることが大変多いワークです。なぜ、間違えてしまったのでしょうか？
考えられる理由を、箇条書きにしてください。答えは一つではありません。

考えられる理由は何ですか？

理由①

理由②

解説

単に直感だけで判断せず、クリティカルシンキングをしっかり行うことが大切です。クリティカルシンキングとは、簡単に言えば、物事を正しい方法で正しいレベルまで考えることです（グロービス2005）。日常生活やビジネスにおいて、正しい方法で正しいレベルまで考えることが、重要です。

では、「正しい」とは具体的にどうすればよいのでしょうか。もう少し詳しい定義をみてみましょう。クリティカルシンキングとは、先入観に囚われず、論理的に考え、合理的な決定を導き出す能力と意思（若山 2009）とされています。この場合、先入観に囚われない練習が必要です。普段から「それって、ホント？ なぜ、本当？」と、問い続けるアクションを実行してみてください。

『誰でもわかるクリティカルシンキング』（若山昇著 北樹出版 2016 p23 一部改変）

3. 隠れた前提

ワーク3

AさんとBさんは、夜ご飯を外で食べようと考えています。するとAさんは「駅前のラーメン屋さんが、今朝のテレビ番組でおいしって特集されていたわ」と言いました。

Aさん「だから行ってみようよ！」

Bさん「じゃあ、行くのをやめたほうがいいね」

2人は全く逆の考えになっています。それぞれの考えに「隠れた前提」を見つけてください。

それぞれ隠れた前提になっていることを書いてみよう。

① Aさんの前提

② Bさんの前提

隠れた前提について確認できると、より深い次の議論ができるようになる。意見がかみ合わないときには「前提」について一度立ち止まってみることが大事です。

振り返り 〈リフレクションシートの記入及び回収〉

読解力 リフレクションシート

年		組		番号		氏名	
---	--	---	--	----	--	----	--

1 日時： _____月_____日（ ） _____校時

2 振り返り

Q1：ロジカルシンキング・クリティカルシンキングの際に留意すべきポイントをあげてください。

--

Q2：「隠れた前提」がずれていると、誤解や誤った結論を導くことがあります。例を参考にして、「隠れた前提」を修正し、例とは別の結論を書いてみてください。

例「A君は徳島の人だ。したがってA君は阿波踊りがうまい。」

隠れた前提：徳島県民は阿波踊りがうまい。

→ 修正：【 _____ 】

結論：A君は徳島の人だ。【 _____ 】

Q3：クリティカルシンキングのワークにあなたはどのように関わりましたか。

①積極的にできた ②まあまあ取り組めた ③うまく参加できなかった

Q4：今回の授業の難易度はどうでしたか。

①易しかった ②ちょうど良かった ③難しかった

Q5：今回の授業の時間設定はどうでしたか。

① 時間が余ってしまった ②ちょうどよかった ③時間が足りなかった

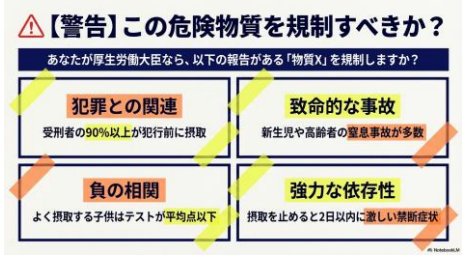
Q1～Q5の回答を、Classiアンケート「学びの技法：③読解力」に入力する。

今回の授業の位置づけ

- 「課題発見」は探究活動のスタートラインである。
 - ・「課題発見」を行う際には、論理的な「読解力」が必要である。
 - ・「読解力」は探究活動全般に関わる能力である。
- 「課題発見」、「データ分析」などの過程では学術的文章を検証していくこととなる。
 - ・検証するときには、「クリティカルシンキング(批判的思考)」が必要である。
 - ・「クリティカルシンキング」の根幹を担うのも「読解力」である。

ねらい

- 「ロジカルシンキング」「クリティカルシンキング」はどのようなものか理解する。
- 「隠れた前提」など、論理的読解を阻害するものを知ろう。

時間	ねらい・内容・留意点
課題1 (15 分)	ねらい ○ロジカルシンキング・クリティカルシンキングについて知ろう。 内容 1 「1ロジカルシンキング」についての資料を読みましょう。 ※先生は生徒の様子を見て、読み終わった段階で以下のポイントを伝えてください。 ①構造化(見える化)することで、論理の破綻がないか確認することができる。 2 ワーク1に取り組む。2～3 人のグループを作り、スライド①・②を提示する。 3 2の内容をグループ内で発表し合い、ワーク1についてグループとしての解答を作成する。 4 いくつかのグループに意見を發表させた後、ワーク1の解答を提示してください。 5 ワーク2グループで取り組む。グループで協議した意見を發表し、意見交換する。 ※いくつかのグループに發表させてください。 6 (必要に応じてスライド③を提示し、)解説を読み、正しい考え方について理解を深める。 スライド①  スライド② 

【解答例】

ワーク1 すぐに規制することはしない。なぜなら、この物質は「ご飯・お米」かもしれないから。
スライド③



ワーク2

- ・既成概念に囚われていたから。
- ・有害な物質、危ないものだ、と思い込んでいたから。
- ・与えられた情報が、意図的、片務的だったから。
- ・正解にたどり着くには広い知識が必要だから。
- ・思い込むと、正確に判断できなくなるから。（信念バイアス）

課題2

(5 分)

ねらい

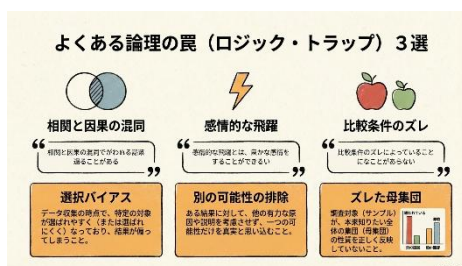
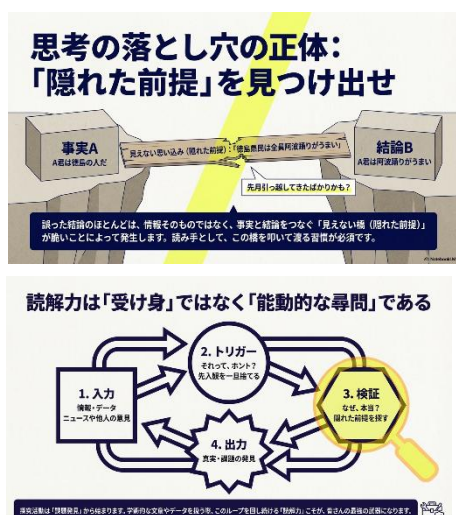
○「隠れた前提」など、論理的読解を阻害するものを知ろう。

内容

ワーク3にグループで取り組む。グループで協議した意見を発表し、意見交換する。

【解答例】

ワーク3 スライドの4～6ページを示して、以下のポイントを伝えてください。



- ・思い込まない。
- ・情報を鵜呑みにしない。
- ・断定的なものの言い方に注意をしよう。
- ・ズレていると思ったら、確認しよう。

振り返り

(5 分)

内容

○リフレクションシートに各自、入力する。
Classi アンケート「学びの技法:③読解力」に入力する。